



昭和小学 第14号

校長室便り
文責
生田 文明

小中一貫・連携教育に取り組んでいます



八代市では、平成二十七年よりすべての中学校区で、小中一貫・連携教育がスタートしました。七中校区でも、昭和小学・郡築小学・七中が連携し、「郷土を愛し、自ら学び、たくましく生きる子ども」を共通テーマとして設定し、「子どもをつなぐ」「先生をつなぐ」「地域をつなぐ」取組を行っています。また、十二月一日には、研究発表会を三校合同で実施し、その成果を発信する予定です。先日これらの取組の一環として、①小中合同研修会（昭和小学での授業）、②一日体験入学、③挨拶運動を実施しました。

① 道徳の研究授業

道徳学習のスタートの一年生の授業を七中校区の先生方、三十名に参観していただきました。今回の授業は、本時の授業にとどまらず、小一から中三までの道徳学習の系統や七中校区で考えた、「話し合い」指導の系統についても、目標や内容は適切であるかどうかを検証する授業でもありました。

九月二十七日（水）の五校時行われた本授業で

は、小中学校のたくさんの先生方に見守られる中で授業が進められました。子どもたちは、最初はとても緊張していましたが、担任の笹尾先生の指導の下で、徐々に緊張もほぐれていきました。「親切と思いやり」の価値を扱った授業でしたが、子どもたちは、これまでの自分の様子を思いだしながら、「親切・思いやり」について考えていきました。学校でのいろんな場面で、一年生が友達に親切にできている様子が担任の先生から紹介されると、何気なく行っている「親切・思いやり」大切に、改めて気づいたようです。

研究会では、語彙がまだ少ない一年生に、自分の気持ちや考えをどのように表現させるのか、その手立てについて、様々な意見をいただくことができました。

中学校卒業時につけておかなければいけない力を小中の先生方が共通理解することで、各学年での求められる力を、その学年でしっかり身につけさせておくことの大切さを再認識することができた小中合同研修会でした。

② 一日体験入学（七中）

九月二十九日（金）、本校六年生と、郡築小学六年生が集い、七中で一日体験入学を行いました。

はじめに、六年合同体育を郡築小学と一緒に行い、互いの交流を深めました。次に、中学校の先生から、専門性を生かした、図工と音楽の授業がありました。水彩画で用いる重色、混色の方法について、丁寧な指導があり、葉一枚一枚を、これら



の技法を用い、彩色していきました。また、音楽では、発声法について詳しく指導していただきました。初見でありながら、歌詞の情景をとらえ、表現豊かに歌い上げることができました。それぞれの担当の先生からは、四月からの授業が待ち遠しいとお褒めの言葉もいただきました。さらに、午後からは、中一の先輩との交流会を行い、中学校での勉強・生活・部活への質疑応答をグループごとに行いました。

六年生の「入学までにおこななければならないことはなんですか。」の質問に対して、中学生から「小学校での学習の復習を十分しておいてください。」と回答があり、小学校での学習の大切さを実感させられたようです。

盛りだくさんの一日でしたが、六年生同士の交流も深まり、中学校の授業・生活への期待も高まる体験入学となったようです。

③ あいさつ運動

十月五日（木）昭和小学卒業の中学生六名が本校校門で、小学生との交流を深めるためのあいさつ運動を行いました。

中学生の挨拶をお手本に、小学生もがんばりましょう。

